

5.21

■司会 三角 幸三〈熊本県〉 熊本県教育庁社会教育課 主幹

西山香代子〈山口県〉 山口県生涯教育センター 生涯学習ボランティア相談員

1. わがまちをジャズの流れるまちに

9:00~9:25

ー「民」が挑戦する地域活性化実験ー

草場 弥史〈山口県〉 於福地区活性化推進協議会 発起人・世話役

発表者は脱サラ、Uターンした「朝日館」のオーナー。地域の活力の低下を憂いて公民館まつり、ジャズコンサート、於福地区の運動会を企画するなど「民」の立場から地域おこしに挑戦している。活動の拠点組織は市民の有志約20名からなる地区の活性化協議会。活動の目的は「住民の心を繋ぐこと」、「子どもたちに誇れるまちにすること」、「地域から新しい発想を発信していくこと」である。

2. 花の街道 命のロマン

9:25~9:50

ーコスモスと菜の花に賭けたコミュニティの創造ー

森田 京子〈鳥取県〉 宇田川を美しくする会 宇田川公民館主事

宇田川公民館を拠点として「宇田川を美しくする会」を結成。平成元年6月から活動を開始。「淀江町の史跡と名水を結ぶ道路を花で飾ろう」を合い言葉に「コスモス街道」づくりを始める。地区内11の自治会長を中心に30~50代が活躍。「コスモス街道」、「菜の花街道」づくり、フォトコンテスト、生け花展等に着手。さらに青少年育成会の結成、国際交流事業の開発にまで発展している。

~ ティータイム ~

9:50~10:25

3. 歌を翼にふるさと創生

10:25~10:50

ー「ふるさと斐川のうた」制定の企画と実践ー

青木真理子〈島根県〉 斐川町ふるさとデザイン課 主任

担当は斐川町の「ふるさとデザイン課」。まちの合併45周年を記念して「ふるさとへの思いを歌に託そう」と発想。『心に残る「ふるさと斐川のうた」制定委員会』を発足させた。町内を初めとして歌詞の公募。子どもから大人まで入賞作品を本におさめ、大賞作品についてはCD化し、CDブックとして刊行した。今後は旧村落単位の学校の校歌など斐川に関するうたを集めてCD化する予定である。

4. ふるさとからの熱きメッセージ

10:50~11:15

ー二鹿（ふたしか）しゃくなげマラソン7年の軌跡ー

藤村 幸生〈山口県〉 二鹿しゃくなげマラソン大会事務局

ジョギング仲間の発想を企画化。会員30名の二鹿昭和会が中心。五月の連休頃に咲き誇るツツジ、しゃくなげの群生地をフィールドとして活用したマラソン大会。今年で7年目を迎える。地域総出で参加者を迎えるアットホームな雰囲気、年を追って参加者も増加している。「ふるさと通信」を発行し、地元を離れた人々に熱いふるさとのメッセージを届ける。

5. 総括討論

11:15~11:40

6. 総会・閉会式 (4 階大研修室)

11:50~12:20